



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」 “Our Future Begins Today”
 アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」 “Respect Y's Movement”
 西日本区理事主題 「ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！」
 “Energizing Y's Men's Clubs with the Y's Spirit”
 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
 金沢クラブ会長主題 「更なる絆をそだてよう！」
 “Cultivate the Bonds of Friendship through the Service”

2016 8 月間強調 Youth Activities

今月の聖句(担当 山内ミハルさん)

8月強調月間

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者は多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見出すものは少ない。
 マタイによる福音書7章13節～14節

ユースに国境を超えた友情を体験する機会を提供し平和な世界を築きましょう！
 堤 弘雄Yサ・ユース事業主任
 (熊本クラブ)

8月例会プログラム

とき 2016年8月18日(Thu.) 18:30～20:30
 ところ 金沢ニューグランドホテル
 会費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000(メット)

司会 幸正一誠君
 開会・点鐘 西信之会長
 主 題 司 会 者
 ワイズソング 一 同
 ハッピーバースデー 西信之会長
 食前の感謝 澁谷洋太郎君
 スピーチ 清水淳君
 “No music, No life”

委員会報告 各 委 員
 ニコニコタイム 伊藤仁信君
 YMCAの歌 一 同
 閉会・点鐘 西信之会長

7月クラブ活動状況

第1例会(7月21日Thu.)
 メン : 朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水
 西、藤井、山内、山本 (10名)
 メキヤップ : なし (0名)
 出席率 : 100 %
 メネット : 伊藤、数澤、澁谷、山本 (4名)
 ゲスト : 山本浩一郎氏、朝倉秀之氏 (2名)

第2例会(7月1日Fri.)
 メン : 伊藤、数澤、澁谷、西、山内 (5名)
 メネット : 数澤 (1名)
 コメット : 河原文香(山内コメット) (1名)

ニコニコタイム 16,000円
 クラブファンド 累計 155,000円

B Fポイント
 切手 190g 累計 645g
 現金 0円 累計 0円

会長 西 信之 書記 山内ミハル
 副会長 澁谷洋太郎 会計 伊藤仁信
 直前会長 清水 淳 ネット会長 数澤淑子

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30～20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会 : 毎月1日 18:30～20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

不思議な出会い

藤井 辰男

2015年6月8日に仙台広瀬川ワイズメンズクラブの4名の方が、金沢を来訪され、金沢ワイズメンズクラブと交流会をもったことに不思議な出会を感じました。

なぜなら、私は奈良YMCAのスタッフとして仙台にて東日本大震災YMCA災害救援活動に参加している時、仙台広瀬川ワイズメンズクラブが誕生することを初めて知ったのでした。その時、私が出会った金沢クラブと仙台広瀬川クラブがOBC(国内兄弟クラブ)を締結するとは、夢にも思いませんでした。不思議な出会いです。神様の導きに感謝いたします。

奈良ワイズメンズクラブ ブリテンにも掲載した内容を紹介します。

「この鐘の響きを風にのせて！」

私は、東日本大震災YMCA災害救援活動に参加した。一日被災地での活動を終え、仙台YMCAの教室で休んでいた。誰もいない静まりかえった夜、鐘の音がどこからとなく聞こえてくる。懐かしい響きである。最初は不思議で仕方がなかった。確かに聞き覚えのある音色である。その瞬間、「ワイズの例会だ！」と思わず心の中で叫んだ。



新たに誕生した「仙台広瀬川ワイズメンズクラブ」の点鐘であった。5月15日には「チャーターナイト」が開催されるとのことである。被災した苦しみ悲しみの中にあって、ワイズの力強さと勇気に感動した。

早朝、私たちのためにと、仙台青葉城クラブのメネット会より手作りのお弁当が届けられた。午前中の活動を終えお弁当の包みを開けると、カードが中に添えられていた。「ボランティアご苦労様です！お弁当食べて元気を付けて下さい。」と書かれていた。何よりも思いやりの心遣いにお腹も心も満たされた。美味しく感謝していただいた。

私は帰路につく夜行バスの中で、被災された方々との

出合いを思い巡らせていた時、鐘の響きが蘇ってきた。ワイズの鐘の響きが平和の音色となって、被災された苦しみ悲しみのある人々の心に届け。そして生きることへの勇気と希望となって届け、風にのって。

【7月例会】

今季初めての例会は、西新会長による開会点鐘で幕を開けました。金沢クラブはメンバー10名の弱小クラブであることがかえってまとまりやすいのか、幸先よく、全員出席で、出席率は100%。



司会者により主題が読み上げられ、ワイズソングの斉唱に続いて、会長引き継ぎ式が行われ、清水直前会長から、西会長へ会長バッジが装着されました。



次はハッピーバースデー。でも今月は該当者なし…と、思いきや、先月からゲストとして出席くださっている山本浩一郎氏の誕生月であることがわかり、急遽、歌と記念品の贈呈式を行うという、うれしいプログラム変更となりました。



また、西日本区大会でたくさんの賞をいただきましたが、その中の一つ、ユース支援賞最優秀賞の盾が披露され、喜びを新たにしました。



美味しい食事の後は、山本浩一郎氏による講話「横浜こぼれ話」を伺いながら、楽しい例会となりました。スピーチの概要は下記のとおりです。

横浜こぼれ話

—へボンとプロテスタント史から—

山本浩一郎

来年2017年は宗教改革500年に当たります。

では日本のプロテスタントの歴史の始まりは何時なのでしょう。始まりの場所、横浜で起こったことについてお話しします。

黒船来航により鎖国が破れて、宣教師たちがやってきたのが1859年、その前年に結ばれた日米修好通商条約によって開港された横浜に到着し、宣教を開始したのです。この中に北米長老教会から派遣されたヘッバーン宣教師がいました。のちにへボンさん（平文）と呼ばれ市民から慕われ、やがて北陸・金沢伝道とも繋がっていきます。

へボンは医学部を卒業した医師でありニューヨークで医院を開業していたのに伝道の思いが強く、44歳で6か月の日本への船旅にでかけたのです。横浜に到着すると居留地に住みながら、その外に施療院を開業し、キリスト教伝道の道を探りました。

当時は尊王攘夷の声で国中が騒然となった時代です。井伊大老暗殺、生麦事件と歴史を動かす事件が続きます。生麦事件では負傷者を治療しました。この事件を契機に薩摩藩が開国に転じ大政奉還となりました。アメリカでは同時に南北戦争が勃発していたのですからへボンは歴史大転換の目撃者でもありました。

宣教を始めるに際しまず取り組んだのは言葉の問題です。治療に取り組みながら日本語の勉強を始めまし

た。そして和英辞書、「和英語林集成」を7年の苦勞の末、完成させました。そのときの発音表記がへボン式ローマ字で今もパスポートの名前表記に使われています。

次に教育に取り組みました。へボン塾と呼ばれクララ夫人が担当していた女子教育は後にフェリス女学院となりました。そして聖書の翻訳に他の宣教師、日本人信徒と共に取り組み、「馬加伝福音書」（マルコ）をはじめ新旧約聖書の翻訳を成し遂げます。

1872年、「日本基督公会」が居留地内に設立されました。日本最初のプロテスタント教会とされています。この時は宗派を超えた一致教会を目指したのですが、考えは一致せず2年後に横浜第一長老公会（横浜指路教会のルーツ）を設立します。さらに明治学院を設立します。へボンが主から与えられた伝道の務めを終えてアメリカに帰ったのは1892年、33年間の日本伝道でした。

一方、トマス・ウイン宣教師が、へボンから18年後に同じ北米長老教会より派遣され、横浜に到着します。そしてへボンより石川県中学師範学校教師職を紹介され北陸伝道に向かい、1881年金沢教会設立に至るのは皆様ご承知のとおりです。

横浜は、わずか100戸の漁村から明治維新の表舞台の一つとなり、日本プロテスタント伝道の始まりの地になりました。日本でのプロテスタントの歴史は、せいぜい150年というところです。始まったばかりというべきでしょう。後を任された現代の日本プロテスタントは何をなすべきなのでしょう。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆第20回中部部会&メネットアワー

日時：2016年8月28日(日) 12:30-16:00

場所：名鉄ニューグランドホテル

登録費：10,000円

講演：「国際協力の意義」

五月女 光弘氏

外務省参与初代NGO担当大使

☆メネットアワー

日時：2016年8月28日(日) 11:00-12:00

場所：名鉄ニューグランドホテル

登録費：1,000円

講演：フリースクール箱崎自由学舎

「ESPERANZAについて」

小田 哲也氏(福岡中央ワイルドメソッド)

~~~~~金沢YMCAからのお知らせ~~~~~

☆金沢YMCA創立70周年記念式典

成功裏に終わる

金沢YMCA創立70周年記念式典を、2016年7月30日に無事に終えて、会員一同ホッとしております。実行委員会（委員長 数澤輝夫）を立ち上げて会議を重ねること20数回に及ぶ準備をしてきました。嬉しいの一言につきます。ご苦労様でした。

記念式典には、島田茂 日本YMCA総主事、山野之義 金沢市長、正木 明 金沢市青団連会長 のご列席があり祝辞を頂戴いたしました。



山野之義市長



朝倉理事長

感じたことですが、YMCAの中日本関連の総主事さんが8名、青団連より小寺生涯学習課長をはじめとして8名、そしてワイズから川口中部部長、八木、薦田メンのご参加。何よりも嬉しかったのは若い学生2名の参加でした。そして、朝倉理事長の挨拶も特に金沢YMCA創立のいきさつは新しい人、若い人には金沢YMCAを知るうえで参考になったとおもいます。少し紹介しておきます。

「混乱の中にあった社会情勢の下でその苦労たるや並大抵のことではなかった広瀬道次郎氏は、敗戦直後生きる目標を失った青年を見て、YMCAを創ろうと自分の所属する金沢教会の上河原雄吉牧師に相談して、三浦孝次氏とともに“キリストに青年を導く架け橋”となるYMCAを考えた。とあります。

これに共鳴した福音館書店店主の佐藤喜一氏、梅光会主事の村田隆氏、中国から引き揚げてきた野島進氏を加えて、発起人会をつくり、同盟関西担当主事であった奈良伝氏の助言を受けて、金沢基督教青年会（金沢YMCA）を創立した。それが1946年9月8日だったのです。（以下略）

これからの金沢YMCAは市内の諸教会とどのようにコンタクトをとるか、どのように協力していくか

が重要な課題になっていくと考えられます。北陸グレース・マスクワイヤの皆さんにご協力いただきました。情感を込めて歌ってくださいました。一度ゆっくりと公演を聴きたいと思いました。



山田公平氏の講演はあじわい深い内容でした。「日本とアジアの青少年の夢」と題して、5つのポイントを挙げられてお話をなさいました。



- 1 地球温暖化  
モノ中心の価値観からシンプルライフへ  
地球市民としての生き方
- 2 高齢化社会の生き方・支え方
- 3 家族観の変化とコミュニティの在り方
- 4 グローバル化と世界観の変化  
自分と隣人    自分と社会    日本と世界  
世界を視野に
- 5 スピリチャリティ（霊性）の重要性  
身と心の調和する生き方  
本当の自分は自分を越えたところで見出せる



山田講師のお話はもっともっと勉強をしないと難しいですが、目指す方向を示されたので取り組んでいきたいと思えます。

金沢YMCA70周年の事業をみんなの協力で無事に終えることが出来て本当に感謝です。私たちには次の事業・・・金沢ワイズメンズクラブ創立70周年記念例会が待ち受けております。

(澁谷洋太郎 記)

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区のHPに、金沢クラブのページがあります。西会長から次のように発信されています。

設立年月日 1947年6月10日

スポンサークラブ 大阪ワイズメンズクラブ

DBC 滋賀蒲生野ワイズメンズクラブ (1992.6.13)

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ (2013.6.8)

メンバー数 10名

2016-2017 会長 西 信之

会長主題 「更なる絆をそだてよう」

会長挨拶 金沢の地は、前田利家とまつとその子利長の時代の高山右近の26年にわたる滞在や現在は町の中心にカソリックや長老派教会、そして北陸学院が置かれているように、キリスト教が古くから影響を与えてきた。ワイズメンズ金沢クラブの会員活動は最近も活発に続けられている。特別の食事会など様々な催しは大変楽しく、会員間の絆はますます強まっている。これは多くの会員が会長以上の強い意識をもっているからに他ならない。今年には会員とできればDBCを増やしていきたい、クラブ間の絆も育てていきたい。

2016-2017 行事予定

- |            |                          |
|------------|--------------------------|
| 2016年7月30日 | 金沢YMCA70周年記念式典           |
| 10月30日     | 芋煮会(内川スポーツ広場)            |
| 11月        | 秋のフェスティバル参加              |
| 12月15日     | 金沢・犀川 合同クリスマス            |
| 2017年1月    | 新年会(メネット会主催)             |
| 4月         | 滋賀蒲生野クラブとの親睦会            |
| 5月         | 仙台広瀬川クラブとの交流会            |
| 6月         | 金沢ワイズメンズクラブ創設70周年事業準備会発足 |

なすべきことが山積しています。楽しみながら準備していきましょう。「楽しくなければワイズじゃない」をモットーに……。

## ＜金沢クラブ 納涼会＞

夏恒例の金沢クラブ納涼会を下記のように計画しました。かねてより幸正ワイズが「金沢クラブ羽咋別館」を準備中でしたが、この度完成し、みんなで集まることができるようになりました。何年前、彼が「お母様のこと」をブリテンで紹介しておられました。一度お会いしたいものだと思っておりましたが、やっと実現することになり、楽しみです。

日時：8月20日(土) 17:00より

終了時間は各自自由

宿泊も可

会費：3,000円程度

場所：羽咋市千路町西区6番地

幸正 一誠宅

連絡先 090-2128-0898

(幸正ワイズ携帯)

アクセス：JRの方

金沢駅からJR七尾線千路駅下車

徒歩 2分

自家用車の方

のと里山海道を走り、柳田インターでおられる。千路駅方向におよそ10分走ると到着。

幸正ワイズ曰く：うまいウナギを食べさせるから、乞うご期待！  
ワイナリーの白ワインが3本、  
昨年のボジョレーヌーボー(?)が1本あります。  
赤ワインを1本、山本たっちゃんに頼んでるんだけど……。  
ということです。

### 9月の担当

聖句担当：メネット会

ブリテン執筆：山内ミハルさん

山本 典子さん

卓話担当：メネット会

Happy Birthday

澁谷 洋太郎君 8月12日

数澤 輝夫君 8月20日

## 佐渡紀行

ずいぶん前から一度行ってみたいと思っていた、佐渡島へ行くチャンスが訪れました。

旅行案内のパンフレットに目が止まり、主人も行ったことがないと言うので、早速ツアーに申し込みをしました。希望日が満席というので7月5日～6日に決定。当日は6時40分ジャンボボールより乗車。車内は現役を退いた夫婦が大部分、後は女性グループ若者が数名でした。サマーツアー初日ということで添乗員も同行。ガイドさんの明るい声に迎えられ出発です。怪しげな空模様でしたがトンネルを過ぎて落ち着いてきました。上越インターから直江津港へ佐渡汽船の新造船高速フェリー5,700トンの「あかね号」が待ちました。佐渡小木港へと航行します。バス、トラック、乗用車と次々に乗り込みます、重量オーバーにならないのかと心配すると主人に笑われました。

乗船後バスから降りて船内の席に座る、今回特別奮発？して1等席を申し込みましたので、座席も立派なもので前方が全面に見える最前列でした。生憎の曇り空のため能登半島が見えず残念でしたが、1時間40分の船旅を楽しみ小木港に上陸。まず、宿根木のノスタルジックな街並みを散策、能登を思わせる間垣塀もありました。タライ船も客を待っていましたが時間がなくパス。今ではタライ船を造る職人も一人しかいないそうです。待望のトキの森公園では特別記念物のトキを間近に見ました。とはいうもののゲージの中にあるトキを見学。トキ色の羽を広げて飛ぶ姿は見られませんでした。ハク製のトキを見て満足しました。

次に佐渡金山の宗太夫坑道に入って見学。当時の作業風景をそのまま再現、人形の動き等まるで本当の人間が働いているかと思うほど精巧にできていて、ビックリすると同時に時代物映画に出てくる映像と重なり、坑道のなかの作業は大変だったろうと思いを馳せました。

相川温泉「吾妻夕映亭」で1泊。料理に大きなズワイガニがどんとでました。しかし切り口が入ってなく四苦八苦、悪戦苦闘。珍しかったのは冷柿でした。

夜はロビーで相川節、相川甚句、佐渡おけさ等保存会の方たちの踊りを見学。最後に佐渡おけさの指導もあり大きな輪の中に入り教えていただき思わぬ体験でしたが、その場ではしっかり覚えたはずなのに一夜明けたらアレアレ？こうだったかなあ、ああだったかなあ？の状態、さすが年には勝てません。

朝8時出発。24mの五重塔と赤松の大黒柱で有名な妙宣寺を雨の中で見学。続いて酒の尾畑酒造を、そして砂金採取のゴールドパークです。特別体験で大きなザルで砂金が含まれた砂を水の中で振るい砂金を見つけているのですが、あった！あった！と声がきこえますがこちらは見つからず腰が痛くなる始末。それでも3粒取ることができました。楽しい時間を過ごしました。バスで走る間あじさいロードと名つけられた道を走りましたが、見事なアジサイで佐渡全体にアジサイが花盛りでした。色はピンク系が多く多彩で見事でした。小木港から直江津へ上越から金沢へと行きも帰りも大した雨もなく、全員がケガもなく元気に帰れたことに感謝です。

久しぶりに主人と一緒に旅でした。

(澁谷 節子 記)

## ＜メネット会年間予定・担当＞

- 7月 7/31 総会 (於 夢茶寮)  
今年度の徒弟・担当を決めます
- 8月 8/28 中部部会に参加しましょう(名古屋)
- 9月 メネットナイト  
司会：山本メネット、食前の感謝：澁谷メネット  
ニコニコ：伊藤メネット
- 10月 10/30(日) 芋煮会  
今年は諸般の事情から、一度日曜日午後に行ってみましょうということになりました。(テストケースです)  
担当：数澤メネット、伊藤メネット
- 11月 カラオケ大会  
新企画です。思いっきり歌って、食べて。ストレス解消のための企画です。  
担当：数澤メネット
- 12月 クリスマス例会  
祝会担当：たぶんメネット会
- 1月 新年会(朝倉メ宅でお世話になります)
- 2月 女正月(結局お休みということ)
- 3月 滋賀蒲生野クラブ訪問のためのお土産づくり  
(山本メネット宅)
- 4月 滋賀蒲生野訪問
- 5月 小旅行
- 6月 西日本区大会に参加しましょう